

手柄山温室植物園だより

シリーズ：姫路市に見られる身近な植物

16. ツクシハギ (マメ科ハギ属)

Lespedeza homoloba Nakai

2014年10月

日当たりのよい丘陵地やため池の土手に多い半低木で、茎の下部は木質化し、高さ 1.5~3mになります。ため池の土手では毎年地際で刈られますが多年草のように成長し、開花します。葉は3出葉で、小葉はやや肉厚で長さ 2~5 cmの楕円形~卵状楕円形、先は丸いかややくぼみます。表面は無毛か、主脈上に微毛があります。裏面は微細な毛が全面にあり、脈上の毛はやや長くなります。花は7~10月に葉腋から総状花序をだし、ハギ類としては長い柄をもちます。旗弁は竜骨弁より短く、耳状突起はよく発達し腎形、翼弁は竜骨弁より短く、がくは5裂で、がく裂片はがく筒とほぼ同長、先端は円~三角形で鈍頭、脈は不明瞭です。翼弁が他の花弁よりも濃く、濃赤紫色で目立ちます。分布は本州、四国、九州で、播磨地域は比較的普通に見られます。

類似種にヤマハギ (*Lespedeza bicolor* Turcz.) とマルバハギ (*Lespedeza cyrtobotrya* Miq.) があります。ヤマハギは高さ 1~2mで、小葉の中脈が針状となり 0.5mmほど凸出する傾向があります。花序の柄はツクシハギより短く、葉よりも外側に出て目立ちます。がくは4裂で裂片の先端は鈍頭~鋭頭で、花は紅紫色ですがまれに白花もあり、旗弁は翼弁や竜骨弁より長く、翼弁は竜骨弁より少し短いのが特徴です。一方、マルバハギは小葉の裏面に毛が多く、先は円頭~凹頭まで変異がありますが、中脈は針状となって凸出傾向がありヤマハギより長くなります。花序は伸びず、葉の長さより短く、がくが4裂し先端が細く伸びて針状になります。花は濃く翼弁は竜骨弁より長いのが特徴です。



ツクシハギ



ツクシハギの拡大



ヤマハギ



ヤマハギの白花



マルバハギ